

令和2年度岡山県農林水産総合センター 森林研究所（木材加工研究室）機関評価結果票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1 基礎から応用まで専門機関から広報機関までの役割を果たす姿勢が評価できる。 2 地域の要望に応えた試験、研究、民間では対応しづらい課題の解決に向けた事業を続けている。 3 設定された運営方針および重点分野に基づいて、県産材の主要な用途である構造用の製材および木質材料製造用のラミナについて、即応性が求められる課題とともに、中期的な計画による課題に対して、活発な試験研究に取り組んでいると思われる。					
2 組織体制及び人員配置並びに 予算配分	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 2人	見直しが必要 2人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1 厳しい予算の中で、若い人材を育てる努力をしている。可能なら人員の増員、予算の上乗せをしてほしい。 2 予算及び人的資源には限りがあるが、今後はさらに試験研究課題が多様化されるであろうこと、および関係する事業所からの技術相談が細分化されるであろうことを想定すると、研究員や技師などの研究従事者の増員は必須であると思われる。 3 人員配置については一般業務のほか、依頼試験・受託研究が増加の中、研究員が不足しているように思われる。予算は増加しているようだが、職員研修費等は依然厳しいように思われる。					
3 施設・設備等	非常に優れている 1人	優れている 1人	妥当 2人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1 高額な物品を順調に揃えている。 2 国の補助金を活用してタイムリーな設備を導入しているが、老朽化している設備の更新を検討する時期である。 3 研究等に合わせて新規機器の導入がなされているが、周辺機器の更新等設備の検討が必要と思われる。 4 研究計画や研究成果を基にして、設備の充実が進められていると思われる。その一方で、設備・機器等を効果的に活用するための人員不足が懸念される。また、導入設備・機器等の実質的な稼働時間や利用者数を実績として示すことも必要と思われる。					
4 研究成果	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1 センター報、学会などの発表に積極性がある。学会誌など、査読誌への投稿が望まれる。 2 付加価値の高い技術（中温セット乾燥）や地域資源を活用した商品（寒害防止材）などの実績を上げている。また、今後需要が増えるCLTや難燃木材の分野でも低コスト化、技術開発に取り組んでいる。 3 研究成果及び普及に対して十分成果が出ていると思われる。 4 県産材利活用に貢献する非常に優れた成果が得られており、継続的な成果発表が活発に行われていると思われる。					

5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、 依頼試験、情報提供等所掌業務の実施状況	非常に優れている 2人	優れている 3人	妥当 人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1 依頼試験件数の増加は関西方面が高い評価をしている証である。視察・見学件数も増えており、専門向け、一般・学生向けなどニーズに合ったコースが必要ではないか。建築士会の研修会等で最新の情報を提供しており、今後も力を入れてほしい。 2 普及業務や視察・見学の増加、特に依頼試験が前年2.65倍増加しており、業界や県民に対し十分な貢献がされている。 3 技術相談対応件数等からは県内木材産業界に対して大きな貢献をしていることが窺い知れ、国内公設試験研究機関の中でも極めて優れた実績を残していると思われる。					
6 人材育成	非常に優れている 2人	優れている 人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1 経験の豊富な人員と若い人員がおり、少ない中でバランスが取れていると感じられる。 2 特別研究員だけでなく、若い技師にも課題を任せるなど経験を積ませている。 3 限られた予算と人員配置の中、適切な方針で進められているように思う。 4 研究計画や研究成果の質の高さから、個々の研究従事者の研究遂行能力の向上を窺い知ることができる。ただし、研究従事者の退職や部署異動は避けられないため、個人が向上させた研究遂行能力を組織として蓄積・承継するシステムを構築する必要がある。					
7 他機関との連携	非常に優れている 2人	優れている 2人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1 基礎分野において、全国的なつながりを持ち、視野を広げる姿勢は高く評価できる。 2 大学や民間企業と共同研究を行うなど、関係方面から期待されている。今後も様々な課題にチャレンジしてほしい。 3 他機関との連携も活発に行われていると思うが、一方ではさらに連携を広げる余地もあると思われる。					
8 県民・地域への貢献	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1 内容的に問題はないと思う。難しい課題だが、県民・地域発信に親しみやすさがさらに載るとより良いかと思う。 2 地域や業界関係者の評価は高い。一般消費者を対象にしたセミナーや施設の見学会ができれば良いと思う。 3 県民・地域への貢献は優れていると思う。さらに、一般の方や小中学生によりわかりやすいアピールの機会があればと思う。 4 技術相談や研究成果に基づいた関連企業への貢献に加えて、高品質の木材製品を提供することによる広く県民への貢献も多大であると思われる。					
9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1 順当に対応がなされている。 2 限りある予算・人員で対応を進めている。 3 本外部評価も含めて県としてPDCAサイクルが構築されており、継続的な改善が行われていると思われる。 ただし、指摘事項に対しては十分な改善対応が行われていないと外部評価委員が判断している件があることも事実である。これが対応できなかったことによるものなのか、あるいは対応した事実が委員へ十分に伝わらなかったことによるのかは不明であるが、県として対応が不可能あるいは不必要とした事項については、その旨を明確に示しても良いと思われる。					

総合評価	非常に優れている 人	優れている 5人	妥当 人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
------	---------------	-------------	---------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

- 1 スタッフが互いに連携し、県ともバランスを取り、高いレベルを保っている。
- 2 岡山県はスギ・ヒノキ・マツの製材や集成材・CLTの製造、バイオマス発電など、木材に関わる業者が多く、森林研究所（木材加工研究室）の役割・存在は大きい。これからも必要な研究所として運営していくことが重要である。
- 3 総合評価としては優れている。「組織体制及び人員配置並びに予算配分」、「施設・設備等」についての見直しの検討をお願いする。
- 4 機関として優れた実績を上げており、試験研究活動のみならず管理運営における多大な努力に対して敬意を表する。

現状を継続していくことによっても研究所の発展は十分に期待できるが、予算配分、人員配置・育成および連携強化などの基盤を整えることにより、さらに研究所は発展していくと思われる。

また、県産材の地産地消を推進するためには、県民への広報活動を通じた普及啓発のほか、県独自の認証制度や認定製品を様々に広げ、品質や安全性の高い製品が身近にあることを周知するような取組も方策としてあると考える。その結果、市場の拡大や県森林資源の理解に繋がるものと思われる。